

平成30年第1回占冠村コミュニティ・スクール議会会議録（第1号）
平成30年11月9日（金曜日）

○議事日程

- 議長開会宣言（午後2時15分）
- 日程第 1 会議録署名議員の指名について（茶谷 一輝君、金森 愛奈君）
- 日程第 2 会期決定について
諸般報告
- 日程第 3 一般質問
講評
- 議長閉会宣言（午後3時44分）

○出席議員（12人）

（占冠中学校）

議長	3年	中本	日菜	君	事務局長	1年	渡辺	堅成	君
議員	1年	金森	夕苺	君		2年	満永	秀誠	君
	3年	金森	愛奈	君		3年	森	颯人	君
	3年	杉岡	春奈	君		2年	茶谷	一輝	君
	2年	伊達	小春	君		3年	渡辺	翔輝	君

（トナム学校）

7年	グルングソニカ	君	9年	佐藤	初香	君
----	---------	---	----	----	----	---

○欠席議員（0人）

○出席説明員

村議会議員

議長	相川	繁治	君	副議長	工藤	國忠	君
議員	大谷	元江	君		長谷川	耿聰	君
	山本	敬介	君		五十嵐	正雄	君
	佐野	一紀	君				

○出席事務局職員

事務局長	岡崎	至可	主事	久保	璃華
------	----	----	----	----	----

◎村民憲章

〇CS事務局長（渡辺堅成君） 起立、礼。

本日、コミュニティ・スクール議会事務局長を務めさせていただき占冠中学校1年、渡辺堅成です。よろしくお祈いします。

村民憲章を朗読します。私の後に続いてください。

ひとつ、健康で、しあわせな家庭をつくりましょう。ひとつ、自然を愛し、美しい環境をつくりましょう。ひとつ、きまりを守り、明るいまちをつくりましょう。ひとつ、生産を高め、活気ある社会をつくりましょう。ひとつ、文化を育て、豊かな郷土をつくりましょう。

お座りください。

◎占冠中学校長挨拶

〇CS議長（中本日菜君） 本日、議事進行を進めさせていただきますコミュニティ・スクール議会議長の中本日菜です。よろしくお祈いします。

本日の議会中の言葉ですが、コミュニティ・スクールを省略し、CSと呼ばさせていただきますので、あらかじめご了承願います。

本日の開会に際し、占冠村、占冠村教育委員会、占冠村議会のご協力で開催できましたことについてCS議会の代表としてお礼申し上げます。

ここで、CS議会の開催にあたり、占冠村立占冠中学校校長より一言ご挨拶があります。前にお進みいただきまして、ご挨拶願います。

占冠村立占冠中学校長、富永浩司君。

〇占冠中学校長（富永浩司君） 占冠中学校の富永浩司でございます。本日、第1回コミュニティ・スクール議会が開催されますこと

を大変嬉しく思います。このCS議会は、占冠村の中学生がCS議会議員となつて、占冠村議会議員の皆様と議論しあう議会です。中学校の生徒が、生まれ育つた村に関心を持ち、さらに住みよい村を作つていくために、自分の夢や希望を交えて議員の皆様質問させていただきます。どうぞ、議員の皆様よろしくお祈いいたします。

また、特別傍聴人として、田中正治村長、松永英敬副村長、藤本武教育長様にもご参加いただき、誠にありがとうございます。この後、この議場で活発な議論が展開され、今議会が実り多くなりますことを祈念して、ご挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお祈いします。

◎特別傍聴人紹介

〇CS議長（中本日菜君） ありがとうございます。今回は特別傍聴人として、今CS議会にご参加していただいておりますので、お名前のみご披露させていただきます。

占冠村長、田中正治君。

占冠村副村長、松永英敬君。

占冠村教育委員会教育長、藤本武君。

本日は、お忙しい中、ご参加いただき、誠にありがとうございました。

◎自己紹介

〇CS議長（中本日菜君） 開会に先立ち、CS議会議員と占冠村議会議員の自己紹介を行います。指名されたものから、順番に自己紹介を行ってください。

まずは、本日の議長である私から行います。CS議会議員、中本日菜です。占冠中学校の3年生です。趣味は、本を読むことです。よろしくお祈いします。

次に、CS議会事務局長、渡辺堅成君。

○CS事務局長（渡辺堅成君） CS議会事務局長の渡辺堅成です。占冠中学校の1年生です。趣味は野球です。よろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、茶谷一輝君。

○CS議員（茶谷一輝君） CS議会議員の茶谷一輝です。占冠中学校の2年生です。趣味はソフトテニスです。よろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、金森愛奈君。

○CS議員（金森愛奈君） CS議会議員の金森愛奈です。占冠中学校の3年生です。趣味は読書です。よろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、森颯人君。

○CS議員（森 颯人君） CS議会議員の森颯人です。占冠中学校の3年生です。趣味は小説を読むことです。よろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、グルングソニカ君。

○CS議員（グルングソニカ君） CS議会議員のグルングソニカです。トマム学校の7年生です。特技は歌うことです。よろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、佐藤初香君。

○CS議員（佐藤初香君） CS議会議員の佐藤初香です。トマム中学校の9年生です。趣味は絵を描くことです。よろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、渡辺翔輝君。

○CS議員（渡辺翔輝君） CS議会議員の渡辺翔輝です。占冠中学校の3年生です。趣

味は筋トレ、特技は筋トレです。よろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、藤田遥誠君。

○CS議員（藤田遥誠君） CS議会議員の藤田遥誠です。占冠中学校の2年生です。趣味はナンプレです。よろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、門間風弥君。

○CS議員（門間風弥君） CS議会議員の門間風弥です。占冠中学校の2年生です。趣味はソフトテニスです。よろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、山本悠幹君。

○CS議員（山本悠幹君） CS議会議員の山本悠幹です。占冠中学校の2年生です。趣味はゲームです。よろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、鈴木朱那君。

○CS議員（鈴木朱那君） CS議会議員の鈴木朱那です。占冠中学校の1年生です。趣味は読書です。お願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、満永秀誠君。

○CS議員（満永秀誠君） CS議会議員の満永秀誠です。趣味は野球をすることです。よろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、金森夕苺君。

○CS議員（金森夕苺君） CS議会議員の金森愛奈です。占冠中学校の1年生です。趣味は読書です。よろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、杉岡春奈君。

○CS議員（杉岡春奈君） CS議会議員の杉岡春奈です。占冠中学校の3年生です。趣

味はスキーです。よろしくお願いします。

〇CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、伊達小春君。

〇CS議員（伊達小春君） CS議会議員の伊達小春です。占冠中学校の2年生です。趣味は読書です。よろしくお願いします。

〇CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、赤石羽紗君。

〇CS議員（赤石羽紗君） CS議会議員の赤石羽紗です。占冠中学校の3年生です。趣味は読書です。よろしくお願いします。

〇CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、杉岡若奈君。

〇CS議員（杉岡若奈君） CS議会議員の杉岡若奈です。占冠中学校の3年生です。趣味はスキーをすることです。よろしくお願いします。

〇CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、赤石妃陽君。

〇CS議員（赤石妃陽君） CS議会議員の赤石妃陽です。占冠中学校の1年生です。趣味は絵を描くことです。よろしくお願いします。

〇CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、馬瀬戸恵梨香君。

〇CS議員（馬瀬戸恵梨香君） CS議会議員の馬瀬戸恵梨香です。占冠中学校の1年生です。趣味は読書です。よろしくお願いします。

〇CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、高橋美咲君。

〇CS議員（高橋美咲君） CS議会議員の高橋美咲です。占冠中学校の3年生です。趣味はギターを弾くことです。よろしくお願いします。

〇CS議長（中本日菜君） 次に、CS議会議員、山本萌君。

〇CS議員（山本 萌君） CS議会議員の山本萌です。占冠中学校の3年生です。趣味は絵を描くことです。よろしくお願いします。

〇CS議長（中本日菜君） 次に、占冠村議会議員、相川繁治君。

〇村議会議長（相川繁治君） 富永校長先生をはじめ、CS議員の皆さん、本日は大変ご苦勞様です。今日は中本議長が議事を進行されております。これが、本当にうまくいくことを願っているわけですが、成功した時には12月議会定例会が予定されております。もしかすると、私と交代をしていただけないかと、そんなふうに思っております。今日は本当に皆さん、緊張されているかと思えますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。お手柔らかにどうぞ、以上です。

〇CS議長（中本日菜君） 次に占冠村議会副議長、工藤國忠君。

〇村議会副議長（工藤國忠君） 占冠村議会の副議長を務めております工藤でございます。私はトママで生まれ、トママに住んでおります。趣味は春から秋まで、暇があれば山菜採りをしています。冬はスキーが下手なので除雪をしながら体を鍛えております。よろしくお願いします。

〇CS議長（中本日菜君） 次に、占冠村議会議員、大谷元江君。

〇村議会議員（大谷元江君） 占冠村村議会議員の大谷元江です。4年1期という議員生活も最後の年になっておりますが、このコミュニティ・スクール議会はここにいる議員さん皆初めてですけれども、私も一年生で初めてですので、お手柔らかによろしくお願いいたします。趣味は漫画を見ることです。皆さんと同じ漫画を見て楽しんでおります。よろしくお願いします。

〇CS議長（中本日菜君） 次に、占冠村議

会議員、長谷川耿聰君。

○村議会議員（長谷川耿聰君） 私は長谷川耿聰。ここに書いてあるんですけども、おそらく誰も読めないと思います。長谷川耿聰、大変良い名前です。3年前にちょっと体を悪くしちゃって北大に肝臓半分くれてきました。今は大体調子がいいんですけど、そのため声が時々出なくなって、今日はなんとか声を出そうとしているんですけど、おそらく聞き辛いと思うんですけども、我慢して聞いてください。

私には3つの趣味があります。まず、スキーに乗ること、登山をすること。登山はかなりいろいろ登ってきました。外国のキリマンジャロ、それからチョモランマ、エベレストですか、その付近まで行ってきたんですよ。それからもう一つはマラソン。42.195kmを走るのが楽しかったんですが、腹を切ったので全部できなくなりました。まだ口だけは動くようなので、今日はよろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、占冠村議会議員、山本敬介君。

○村議会議員（山本敬介君） 占冠村議会議員、山本敬介と申します。51歳です。大阪出身ですが、30年前に占冠村に来ました。今日は皆さんと夢のある議論ができればいいなあと思っていますので、よろしくお願いします。仕事はデザインの仕事をしています。よろしくお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、占冠村議会議員、五十嵐正雄君。

○村議会議員（五十嵐正雄君） 議会議員をやっています五十嵐正雄です。中学生の皆さんとは陶芸教室で、小学校、中学校と一緒に作品を作って、今年も文化祭でたくさんの作品が出てきました。本当に陶芸がこの村で少しずつ定着してきているということで、喜ん

でおります。今日の議会、ひとつよろしくお手柔らかにお願いします。

○CS議長（中本日菜君） 次に、占冠村議会議員、佐野一紀君。

○村議会議員（佐野一紀君） 占冠村議会議員、佐野と申します。よろしくお願ひいたします。私の出身は和寒町です。工藤副議長もおっしゃられていたんですが、スキーは全然だめだということで、私は頭に「ウィ」をつけてウィスキーが大好きです。よろしくお願ひいたします。

○CS議長（中本日菜君） CS議会議員、村議会議員の皆様、ありがとうございました。では、さっそくですがCS議会を開催します。

◎開会宣言

○CS議長（中本日菜君） ただいまの出席議員は22名です。平成30年第1回占冠村コミュニティ・スクール議会を開会します。

◎日程第1 会議録署名議員の指名について

○CS議長（中本日菜君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

CS議会の会議録署名議員は、議長において、茶谷一輝君、金森愛奈君を指名します。

◎日程第2 会期決定について

○CS議長（中本日菜君） 日程第2、会期の決定の件を議題とします。

お諮りします。

本CS議会の会期は、本日11月9日の1日間としたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○CS議長（中本日菜君） 異議なしと認めます。

したがって会期は、本日11月9日の1日間

と決定しました。

◎諸般報告

○CS議長（中本日菜君） これから諸般の報告を行います。

事務局長。

○CS事務局長（渡辺堅成君） お配りしております審議資料をご覧ください。読み上げでご報告いたします。

9月28日、トマム学校、観光についての学習オリエンテーションを行いました。

10月4日、トマム学校、村内観光施設訪問を行いました。

10月10日、トマム学校、星野リゾート・トマムでのファーム学習を行いました。

10月17日、占冠中学校、CS議会アンケートを行いました。

10月18日、トマム学校、自己課題のまとめを行いました。

10月26日、トマム学校、一般質問の検討、アンケートの実施を行いました。

10月29日、占冠中学校、一般質問、再質問内容の検討、発言者の決定を行いました。以上、ご報告いたします。

○CS議長（中本日菜君） これで諸般の報告を終わります。

◎日程第3 一般質問

○CS議長（中本日菜君） 日程第3、これから一般質問を行います。順番に発言を許します。

1番、茶谷一輝君。

○1番（茶谷一輝君） CS議会議員の茶谷一輝です。議長の許しを得ましたので、一般質問を行います。

現在、バスの運行が午前中2回、午後1回となっています。長期休業中に富良野市の学

習塾に通っている生徒が2便に乗ると午前に始まる塾に間に合わなくなったり、午後に塾が始まる人は空き時間が3時間以上ある状況です。ですから、バスの運行時間を変えたり、便数を増やしてほしいです。

また、値段が少し高いので、回数券などの発行により、負担の軽減はできないでしょうか。村議会議員として何か考えられることがあるのか、工藤議員に伺います。

○CS議長（中本日菜君） 工藤國忠君。

○村議会副議長（工藤國忠君） ちょっと皆さん緊張しているようなので、ゆっくりやりたいと思います。茶谷議員、今回はよろしくお願いします。

まず、茶谷議員にお尋ねしますが、茶谷議員は夏休みや冬休み中は富良野の塾に通っているんですか。

○1番（茶谷一輝君） 私はまだ通っていません。3年生が通っています。

○村議会副議長（工藤國忠君） 茶谷議員はなぜ富良野の塾に通いたいのですか。

○1番（茶谷一輝君） 受験勉強の参考にしたからです。

○村議会副議長（工藤國忠君） 昨年から村の公民館に設置した公設塾、ステップアップサポートゼミには通っていますか。

○1番（茶谷一輝君） 去年は通っていましたが、今年は通っていません。

○村議会副議長（工藤國忠君） 分かりました。内容は、富良野の塾に通う必要性を感じますか。

○1番（茶谷一輝君） 3年生になったら必要になると思います。

○村議会副議長（工藤國忠君） 話を質問の趣旨に戻しますが、塾の空き時間が3時間あるのは無駄な時間でしょうか。その時間に予習なり、復習なりをする時間とすればとても

有効な時間ではないでしょうか。

○1番（茶谷一輝君） 確かに勉強などを行う時間ですが、場所を探したり、そういう部分もあるので、また、お昼ご飯の値段もかかるので、有意義ですができれば家で過ごした方が良いと思います。

○村議会副議長（工藤國忠君） 公設塾の設置後、学習意欲が高まり何よりと思います。公設塾は遠くに通うことが大変な家庭への村としての回答の一部かなと思っております。交通体系の見直しについては、住民全体での利用や、効果を検証しなければならないと考えています。このような検討、検証の結果、村民全体にとって有意義かどうかはまだ結論は出ませんが、皆様のような意見が多かった場合は、何らかの方法で検討しなければならないと考えております。

また、例えば今後、インターネット等のデバイスが発展してきた場合、家にいても都会と同じ環境ができるのかもしれませんが、時代はものすごいスピードで進んでおりますので、このへんも期待できると感じております。時代に即した教育環境も整ってきておりますので、そのへんの整備も考慮して、今後も議会活動をしていきたいと考えております。以上で答弁を終わります。

○1番（茶谷一輝君） 再質問させていただきます。学習塾について、工藤議員はインターネットの活用について触れられましたが、実際にその場で教えてもらえることで学習効果が高まると思います。長期休業中に時間を有効に使い、富良野市内の学習塾を利用できる村バスの運行方法について、村民などにアンケートを取ることはできないでしょうか。

○村議会副議長（工藤國忠君） 耳がちょっと、聞き取りにくくて。アンケートについては、取って考えていきたいと思っております。

○1番（茶谷一輝君） よろしく申し上げます。以上です。

○CS議長（中本日菜君） 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

次の質問に移ります。2番、金森愛奈君。

○2番（金森愛奈君） CS議会議員の金森愛奈です。議長の許しを得ましたので、一般質問を行います。

現在、千歳橋については大型トラックがスピードを出して走るため、非常に危険な状況にあります。

また、高速道路が不通の時には、トラックの渋滞で付近の道路を渡るのに危険という状況にあります。

さらに、宮下公園前の横断歩道で自動車は信号無視をすることがあります。これらのことがあり、困っているのですが、村議会議員として何か考えられることがあるのか、五十嵐議員に伺います。

○CS議長（中本日菜君） 五十嵐正雄君。

○村議会議員（五十嵐正雄君） 金森愛奈議員の質問にお答えいたします。3点ほど挙げられておりますのでお答えするわけですが、これらの3点の課題については、多くの住民の人たちが高速道路開通後、また、トマムのリゾートの振興というか、入込人口が増えている状況の中で危惧されて、多くの村民から金森議員が言われたようなことが言われていると認識しております。

3点についてお答えしたいと思います。まず、1点目の千歳橋を走行する大型トラックの中に、スピードを出して走るのに危険を感じる件についてです。私も散歩中に何回かそういうことに遭遇していますし、あそこについては美園等からの通学者、児童生徒が多いわけで、大変危険だなというふうに思っているところです。これの対策につきましては、

一口で言ってしまうと、ドライバーのマナーの向上によるところが大きいと考えておりますけれども、歩行者の安全対策としては、現在、川上側のほうに歩道が設置されていて、残念ながら川下側には歩道がありません。ここに、ぜひ歩道を両側に、川下にも歩道を設置して安全に歩行できるようにしていくと共に、歩道だけでは危ないので、そこに安全柵、分離帯を設置して歩行する人が安心して通れるような歩道を作っていくことが喫緊の課題だと思っています。

道路管理者である北海道開発局旭川建設部に、これらについて、住民の命と安全を守るという立場から、安全策についてぜひとも講じるように住民の声を上げて開発局に強力に要請していきたいと考えています。

2点目の高速道路の不通時のトラックの渋滞による危険対策につきましては、金森議員のご指摘のとおり、年に何回かこういったことがあるわけで、多くの村民が危険を感じているところです。対策としましては、北海道警察の協力を得ながら、渋滞時にはパトロールとか街頭での安全指導を強化していただき、住民の安全を確保するように富良野の警察署に要望してまいりたいと考えます。

3点目の問題でありますけれども、宮下の信号を無視する車があると。宮下だけではなく中央の信号についても、特に、夜間については0時近くになると信号を全く無視して走行している車が見受けられるというのが実態です。大変危険な状況になっております。これらについても2点目と同じように、警察によるパトロールとか、取り締まりを強化していくことが必要と考えております。

いずれにせよ、交通安全対策については、ドライバーの運転のモラルによるところが大きいんですけれども、運転免許取得時とか、

これから皆さんも高校を卒業して社会人になる過程の中で免許を取るわけですが、そういった時の交通安全意識の高揚のための取得時の講習の強化とか、免許更新時、3年とか5年で免許の更新があるんですけれども、その時に交通安全についての講習を充実させていくということが必要だと考えています。

基本的には、トラック等の大型の車のマナーの悪いことが多くみられるので、これらについては、トラックドライバーを雇っている事業主とか会社が働いている人たちに対する安全教育、安全運転確保に向けたトラック運転手の労働条件の向上を図っていかねば、残念ながら仕事のノルマに追われていて、一分一秒でも目的地に早く着くというような社会状況があるわけですから、これらを変えていかねばならないというふうに考えています。

これは一方的な私の発言で、金森議員からいろいろな考え方があればお聞かせ願いたいと思います。

○2番（金森愛奈君） 道路付近に交通安全を促す旗を立てるといのはいかがでしょうか。

○村議会議員（五十嵐正雄君） それは必要だと思うし、うちの村の場合、旗はたくさんあるわけですが、目に見えるようにするとか、「これから100m先市街地に入ります」というような看板を立てて、運転手に注意喚起をするとか、子どもたちが通る通学路については、それぞれ表示されていますけれども、もっと大きく、多く設置してドライバーの注意喚起を促すような取り組みもこれから必要だろうと考えます。

○2番（金森愛奈君） 以上です。

○村議会議員（五十嵐正雄君） どうもありがとうございました。

○CS議長（中本日菜君） 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

次の質問に移ります。3番、森颯人君。

○3番（森颯人君） CS議会議員の森颯人です。議長の許しを得ましたので、一般質問を行います。

現在、青巖太鼓が解散してしまったことや伝統文化の継承については、少子化により継承が難しくなっています。

ほかに、日曜日の子どもの居場所については、公園が少なかったり、コミプラが開いていなかったりして遊ぶ場所がないという状況にあり、困っています。この状況を改善するために、村議会議員として何か考えられることはあるか、相川議員に伺います。

○CS議長（中本日菜君） 相川繁治君。

○村議会議長（相川繁治君） ただいま、森議員からこの度、3点質問をいただいたということだと思えます。よろしくお願ひします。

現在、青巖太鼓が解散されていることは本当に残念なことですが、森議員は今後、再開されることがあるとすれば参加をしてみたいとお思いかどうか、まずお伺ひしていきなさいと思うんですが、いかがでしょうか。

○3番（森颯人君） 青巖太鼓がまたできたら、自分はもう一回、青巖太鼓をやりたいと思います。

○村議会議長（相川繁治君） それから、青巖太鼓につきましてもメンバーがどのくらいいると再開できるのか。私は経験がないので分からないんですが、森議員は以前入ってやられていたと思うので、どのくらいのメンバーだと可能性があるのかなということでお聞かせいただければと思います。

○3番（森颯人君） 一人ひとりが無理せず、しっかり青巖太鼓を行うには、10人程度必要だと考えます。

○村議会議長（相川繁治君） 森議員からは再開されれば参加したいということと、メンバーは10人くらいいれば何とかやれるんじゃないかというお話がございました。

もう1点、今まで小中学生で週に何回くらい練習されていたのか。練習の回数についてはいかがでしょうか。

○3番（森颯人君） 今までは週1回練習していました。

○村議会議長（相川繁治君） 引き続きなんですけど、中学生だと部活も行うと思うので、部活などの時間がぶつかったり、部活との関係で困ったことはあったでしょうか。

○3番（森颯人君） 自分はソフトテニス部に入っていて、時間がぶつかった時は、青巖太鼓の始まる時間が部活と重なっていてもあまり支障がなかったもので、あまり問題はなかったです。

○村議会議長（相川繁治君） 次に、占冠の神楽についてでございますけれども、神楽については実際に上演されている時にご覧になったことはありますか。

○3番（森颯人君） はい、あります。

○村議会議長（相川繁治君） もし参加して、やれる機会があれば練習してやってみなさいと、そういう思いはありますか。

○3番（森颯人君） 見ている限りではとても難しそうで、やってみなさいという気持ちはあるんですけど、やるとしたらしっかり時間を取らせていただいて練習してみなさいです。

○村議会議長（相川繁治君） 次にもう1点、日曜日の子どもの居場所の件でございます。これにつきましても、利用したいという方がどのくらいいるのか分からないものですから、どうでしょう、どのくらい居られる感じですか。

○3番（森颯人君） 中学生は勉強があり、

忙しいときもあるのであまり外で遊ぶということはないと思うんですけど、小学生は家で勉強をする機会よりも、外で友達と遊んでいる機会のほうが多いと感じるので、小学生が日曜日の居場所に困っていると思います。

○村議会議長（相川繁治君） これについてはちょっと調査してみないとどのくらいいるかは掴めないと言いますか、分からないところですね。

今、いろいろお伺いした中で、青巖太鼓につきましては現在解散され、中断していますが、これは大変残念なことであります。村民の大切な税金がつぎ込まれて、多額の予算措置が行われている中なので、大事な備品として揃え、今は使用されず保管されております。この保管につきましても、湿度であるとか乾燥に関しても管理が大切だというお話も伺っております。森議員とのやりとりの中でも、ご意見がありましたとおり、一日でも早く再開されるように、教育長をはじめ、関係の皆さんに働きかけをして、要望にお応えできるように取り組んでまいりたいと考えております。

また、占冠神楽につきましては、村民憲章にもあるように、「文化を育て、豊かな郷土をつくりましょう」ということで、これにつきましても早く継続されていくようにしていきたい。それから、現在、これは各方面からかなりの高い評価を受けて活発な活動が行われております。森議員がご指摘のとおり、人口減少、それから少子社会の中で今後に向けた人員確保が大切なことかと思えます。村内の若い方に呼びかけをしながら、小中学生にも関心を持っていただけるように働きかけをし、村をあげての伝統文化の継承に努めてまいりたいと考えています。

それから、日曜日の子どもの居場所につき

ましては、確かにコミプラは日曜日休みになっておりますが、利用されたい方がどのくらいいるのか、しっかり調査をした中で、村、あるいは教育委員会と相談しながら取り組んでまいりたい。そのように考えております。

参考としまして、教育委員会で作られている学校開放事業ということもございますので、そういった中で利用できないか、そういったこともこれからの検討課題としていかなければいけないと思っております。以上です。

○3番（森颯人君） ありがとうございます。再質問です。青巖太鼓については、指導者を雇うことはできないのでしょうか。

他にも、コミプラに日曜日に開けてほしいです。

○村議会議長（相川繁治君） 青巖太鼓の件だと思んですが、指導者をということにつきましては、私共素人としては、この場でこういう方を置こうということは言い切れませんので、これにつきましては教育委員会と相談しながらお返事できるようにしていきたいと思っております。

子どもの居場所につきましては、コミプラの運営につきましては決まりがありまして、日曜日は閉館するような形となっておりますので、別の形を教育委員会なりと、学校開放事業というようなことの中で検討させていただければと思っております。繰り返しになりましたけど、ご了解をいただければと思います。

○3番（森颯人君） 以上です。

○村議会議長（相川繁治君） ありがとうございました。

○3番（森颯人君） ありがとうございます。

○CS議長（中本日菜君） 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

次の質問に移ります。4番、満永秀誠君。

○4番（満永秀誠君） CS議会議員の満永秀誠です。議長の許しを得ましたので、一般質問を行います。

子ども会でごみ拾いをする機会が2回ほどあると思いますが、それだけでは村内のごみが拾い切れていないと思います。村議会議員として何か考えることがありますか、長谷川議員お願いします。

○CS議長（中本日菜君） 長谷川耿聰君。

○村議会議員（長谷川耿聰君） 満永秀誠君、楽しいこう。満永議員の質問にお答えいたします。趣旨は子ども会で2回ほどゴミ拾いをしたけれども拾いきれないと。長谷川、何を考えているんだと、こういう質問だと思います。

ごみの問題ですから、大変なことだと思って3晩くらい寝ないでごみのことを勉強してみました。

満永議員の質問に答える前に、ごみというものはどういうものかと。満永議員と私の対話の中でやりとりをして、意思の疎通を図りたいと。ごみについて簡単に申し上げますと、ごみとは、満永議員はどういうふうに考えますか。

○4番（満永秀誠君） ごみとは、使わなくなったものやもう使えないものなど、そういうものがごみだと思います。

○村議会議員（長谷川耿聰君） そのとおりです。いらなくなったもの、捨てるもの。それを法律で言うと廃棄物処理及び清掃に関する法律、廃棄物処理法というのがあって、参考までに持ってきているんですが、この廃棄物処理と関係法の一冊の中に処理の方法や取り扱いが決まっているんですね。廃棄物処理ですからいろいろな廃棄物があって、廃棄物とは何かと。

ごみを広い意味で考えて廃棄物と法律では言います。廃棄物処理、その中でごみというもの、いろいろなごみに分別されます。あんまり時間がないから、廃棄物処理法でいうごみとは、ごみ、粗大ごみ、燃え殻、汚泥、糞尿、廃油、廃酸、廃アルカリ、動物の死体、その他汚物、不要物と整理されています。それをさらにいろいろな会社や事業者が出す産業廃棄物、一般廃棄物に分かれます。全議員の方も覚えてほしいと思うんですけども。

産業廃棄物以外は一般廃棄物です。俗にいう家庭ごみですね。その処理方法が間違っているか、間違っていないかが捨てる、捨てないの問題になっていくんです。役場では必死になってごみを減らそうと思っています。占冠のカレンダーの裏に家庭ごみの分別収集がついているんですね。これを見たらすぐに分かると思うんです。一般ごみ、生ごみ、プラスチックごみ、紙類とあります。

本路に戻して、私たちが生活している間には必ずごみが出る。水を出しっぱなしにしたらごみみたいになってしまうし、鼻をかんだら捨てたらごみです。食べたら排せつする。し尿処理。多いのは生活ごみとし尿処理、これが問題になっているんですね。そういうふうに分別されている。分別することによってごみが減ると。村にごみ処理場があるけれど、何年も使っているからごみ処理場は今、満杯になっていて新しく何億円かかるか分からないけれども、今作らなきゃならない、そういう問題があります。

○CS議長（中本日菜君） 長谷川議員、もう少し短くしてください。

○村議会議員（長谷川耿聰君） 分かりました。きつと言われると思っていました。質問の本旨に入ります。

捨てる。捨てる人のマナーの問題です。き

ちんと分別して捨てない。これが最大のごみの処理方法ではないかと思えます。捨てても捨ててもなくならないということだから、もう少しごみの分別収集を徹底してやると。絶対捨てないということで、ごみを処理しなければならぬと思えます。以上です。何かありますか。

○4番（満永秀誠君） 以上です。ありがとうございました。

○CS議長（中本日菜君） 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

○村議会議員（長谷川耿聰君） ちょっとやりすぎましたね。

○CS議長（中本日菜君） 次の質問に移ります。

5番、金森夕苺君。

○5番（金森夕苺君） CS議会議員の金森夕苺です。議長の許しを得ましたので、一般質問を行います。

毎日、占冠中学校に通学している中で気になっていることがあります。部活動などで帰りが遅くなった時や冬期間は通学路が暗く、不安を感じています。

また、通学に使う横断歩道で信号無視をする車がいたり、車との距離が近すぎて恐怖を感じる場所があり、困っています。村議会議員として何か考えられることがあるのか、工藤議員に伺います。

○CS議長（中本日菜君） 工藤國忠君。

○村議会副議長（工藤國忠君） 金森議員、今回はよろしく申し上げます。

まず、金森議員にお尋ねしますが、具体的に部活の帰りが遅くなる時間とは何時ですか。

○5番（金森夕苺君） 大体6時くらいです。

○村議会副議長（工藤國忠君） 夏時期だとまだ明るく、大丈夫だと思えますが、冬期間は確かに暗いと不安ですよね。通学路には街

灯も設置しておりますが、どのあたりが具体的に暗いですか。

○5番（金森夕苺君） まず、坂が始まる場所からカーブする場所までが暗く、山もあるのでそこが一番怖いです。

○村議会副議長（工藤國忠君） 街灯自体がないのでしょうか。それとも木が生い茂って点灯している明かりが遮断されていることなのか、そのへんはどうですか。

○5番（金森夕苺君） まず、街灯が少ないのもありますし、隣の街灯も木で遮られているのでどちらともです。

○村議会副議長（工藤國忠君） 帰り道が不安ということですね。これを学校の先生や親に話したことはありますか。

○5番（金森夕苺君） あります。

○村議会副議長（工藤國忠君） その時、先生や親はどのようなアドバイスをしてくれましたか。

○5番（金森夕苺君） ライトを持たせてくれたりしてくれました。

○村議会副議長（工藤國忠君） 通学路については、交通安全ばかりではなく防犯にも深く関係しております。事件や事故が起こってからでは遅いと考えております。

質問の趣旨に戻りますが、国道の横断については交通マナーの問題もありますし、大人としての自覚や、皆さんが常に気を付けたり、小学生等に指導することによって数年はかかるかもしれませんが、マナー向上に寄与できると考えております。

また、通学中に熊などの危険もありますので、その対策も考慮しなければならないと考えております。

学路全体での対策については、行政や学校等で構成している通学路対策協議会に取り扱ってもらえるように活動していきたいと思

ます。以上で答弁を終わります。

○5番（金森夕苺君） これで質問を終わります。ありがとうございます。

○CS議長（中本日菜君） 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

次の質問に移ります。6番、杉岡春奈君。

○6番（杉岡春奈君） CS議会議員の杉岡春奈です。議長の許しを得ましたので、一般質問を行います。

現在、公設学習塾で学年によって毎週同じ教科しかやっていないので、他の教科も増やしてほしいです。また、基本だけでなく応用問題もやってほしいです。このことについて、村議会議員として考えられることがあるのか、山本議員に伺います。

○CS議長（中本日菜君） 山本敬介君。

○村議会議員（山本敬介君） 杉岡春奈さんのご質問にお答えしていきたいと思えます。大変良い質問をしていただいております。聞きたいこともあるので、答えてくださいね、よろしく願います。

今、中学校は英語と数学があるんですね。どんな教科を増やしてほしいと思っておりますか。

○6番（杉岡春奈君） 理科とか社会です。

○村議会議員（山本敬介君） 理科や社会。春奈さんは、英語・数学・理科・社会の中で一番得意なのは何で、不得意なのは何ですか。

○6番（杉岡春奈君） 得意なのはないんですけど。

○村議会議員（山本敬介君） 一番不得意なのはどれですか。

○6番（杉岡春奈君） 数学です。

○村議会議員（山本敬介君） 数学ですか。数学は今、公設塾があるから良いと言えいいんですね。でも他の教科もあつたほうがより良いという形ですね。

去年の7月から公設塾をやっていますけど、去年も春奈さんは通われたんですか。

○6番（杉岡春奈君） はい、通っていました。

○村議会議員（山本敬介君） 2年目ということですね。どうでしょう。随分効果が表れているなあということは実感していますか。

○6番（杉岡春奈君） はい、実感しています。

○村議会議員（山本敬介君） それは素晴らしいですね。今日はコミュニティ・スクール議会なのであんまりお金の話をするのはふさわしくないと思うんですけど、議会とか行政というのは限られた税金をどういうふうに使っていかうかということを主にいつも議論しているんですね。もちろん、そればかりじゃだめなんですけど、限られた税金をどうやって効果的に使っていかうかということを話しているの、今日は話をしようと思っています。

去年は7月からだったので、およそ190万円を公設塾に委託料で払いました。今年は小学生からやっていますので、およそ500万円のお金を使っているんですね。今年は国からの交付税の措置もありますので、全部が持ち出しじゃないんですが、占冠村という小さな自治体にとっては大きなお金を使っているということだけは理解してもらいたいなと思っています。

教科を増やすということは、今の時間は減らさずに増やしたいという感じですか。

○6番（杉岡春奈君） 今、数学と英語をやっていて、一教科が1時間30分なので、30分ずつ短くして、他の教科を1教科増やすとかしてほしいです。

○村議会議員（山本敬介君） 時間は増やさずにですね。時間を増やさずに教科を増やせ

ば委託料も増やさずにやってもらえないかという交渉はできるかもしれないかと思いますが、生徒は他にもいますから、そういうニーズがあるかどうかは皆から話を聞いてみないとだめかなと思います。

どんどん公設塾を増やしていくと、どんどん税金がかかってきますから、税金というのは皆さんの公設塾にけるお金も大事ですけど、その他にもいろいろなところでの大事なお金もあるんですね。どうやって優先順位を付けてやっていくかということをお話し合っていて決めていくことになっているんですね。なので、もし、教科を増やした時に少し個人負担みたいなものをお願いすることも出てくるかもしれないと思っているんですけど、春奈さんが自分のお小遣いから払うとしたら、一回の授業にいくらくらいだったら払っても良いと思いますか。

○6番(杉岡春奈君) 1回の授業はどのくらいの時間ですか。

○村議会議員(山本敬介君) 90分で。いくらくらいだったら春奈さんだったら払っても良いと思いますか。

○6番(杉岡春奈君) 予想なんですけど、3千円。

○村議会議員(山本敬介君) 3千円。おお。参考にさせていただきたいと思います。

今、画一的な教育を、皆で同じ勉強をしてそういう人材を育てるんじゃなくて、いろいろなスペシャリストを育てる。そのほうが社会に出てから実力を発揮できるという社会になっていると思うんです。

昔は同じような勉強をして、同じように育てていくというような教育だったんですけど、私は、夢なんですけど、スペシャリスト教育みたいなのがあったらいいと思うんですよね。例えばコンピューターのプログラマーを育て

るとか、パティシエになりたいからパティシエの塾とかね。ちなみに、私は、中学校の時に漫画家になりたいと考えていたので、漫画家塾とかがあったら多分通っていたと思うんですけど、春奈さんはそういうのがありますか。

○6番(杉岡春奈君) まだ将来の夢とか決まっていないので、今はないです。

○村議会議員(山本敬介君) 何かあったら、そういうのを考えても楽しいと思います。以上で私の答弁は終わりですが、何かありますか。

○6番(杉岡春奈君) 以上です。

○村議会議員(山本敬介君) ありがとうございました。

○6番(杉岡春奈君) ありがとうございました。

○CS議長(中本日菜君) 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

次の質問に移ります。7番、グルングソニカ君。

○7番(グルングソニカ君) CS議会議員のグルングソニカです。議長の許しを得ましたので、一般質問を行います。

総合的な学習の時間で占冠村の観光について勉強し、そのまとめとしてパンフレットを作りました。このパンフレットをたくさんの人に見てもらいたいと思います。そこで、村内の行事で配布することを考えました。また、道の駅やミナ・トマムなど村内のお店に協力してもらい、チラシとして商品と一緒に渡すことを考えました。村議会議員として、他に何か考えられることがあるか、相川議員に伺います。

○CS議長(中本日菜君) 相川繁治君。

○村議会議員(相川繁治君) グルングソニカ議員の質問をいただいたわけですが、これ

についてお答えをしたいと思います。

その前に、お伺いするところによりますと、ソニカさんはネパールから日本の北海道、そして、占冠村のトマムに定住されていると伺っております。トマムでの生活は慣れるまで非常に大変だったのではないかと思うわけですが、いかがでしょうか。

○7番（グルングソニカ君） 楽しかったです。

○村議会議長（相川繁治君） いろいろな面で随分頑張ったんだと思います。

それと、先日、ここに新聞の切り抜きを持っているんですが、今月の6日付けの北海道新聞上川版に人権作文ということで旭川大会優秀賞としてグルングソニカさん、占冠、トマム学校7年と発表されました。おめでとうございます。このことは、ご本人はもちろんのこと、ご家族、トマム学校、村の誇りであると私は思っております。本当におめでとうございます。

1点、お聞きしたいのは、ソニカ議員は、このパンフレットの作成にあたって、関係のところインタビューとかはされたのかなという点ですが、いかがでしょうか。

○7番（グルングソニカ君） しもかぶ工房には質問しましたが、山菜工場は質問をあんまりしなかったです。星野リゾートは質問しました。

○村議会議長（相川繁治君） パンフレットを見ますと、佐藤さんと二人で作成されたような感じで、お二人の名前が載っているわけですが、限られた時間の中でこうしたパンフレット作成、大変良くまとめられております。現実に、これを実用するとなるとクリアしなければならない問題が何点かあるのかなと思うんですね。

占冠村をPRしたいという気持ちは、とて

も貴重なことと受け止めております。ありがとうございます。このことにつきましては、村の企画商工課などと相談の上、期待に添えるように取り組んでまいりたいと思っております。そういったことで、意欲を持って村に関わっていただければと考えるところでございます。何かございますか。

○7番（グルングソニカ君） もう一つあります。占冠村だけでチラシとして出すのも良いと思うんですが、占冠周辺の市町村の人たちにもチラシとして渡すのはどう思いますか。

○村議会議長（相川繁治君） 道内各道の駅にも占冠の山菜などを卸しているところがたくさんあるわけですね。そういったところと一緒に持って行って置かせていただくとか、札幌など大きな都市のホテルでもこういったパンフレットを置いているところが結構あるんですね。そういったところにも村からお話をして、置いていただくということは可能だと思っておりますし、それはできれば数多く配布していきたいと思っております。

○7番（グルングソニカ君） ありがとうございます。

○村議会議長（相川繁治君） よろしいですか。ありがとうございます。

○CS議長（中本日菜君） 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

次の質問に移ります。8番、佐藤初香君。

○8番（佐藤初香君） CS議会議員の佐藤初香です。議長の許しを得ましたので、一般質問を行います。

総合的な学習の時間で占冠村の観光をテーマに、いくつかの施設を訪問させていただき、学習を深めました。しもかぶ工房や赤岩青巖峽など占冠村には多くの魅力あふれる場所があることを再発見したのですが、交通の面で不便な場所が多々あることに気づきました。

車がなければ訪れることができず、高齢の方や車のない観光客に来ていただく機会が少ないと思います。

また、駐車場や信号機などが十分でなく、車があったとしても気軽に行けるような場所ではないと考えます。そういった状況の中で、交通の面での環境整備やバスの増便などができないか考えたのですが、村議会議員として他に何か考えられることがあるのか、山本議員に伺います。

○CS議長（中本日菜君） 山本敬介君。

○村議会議員（山本敬介君） 佐藤初香議員のご質問にお答えしたいと思います。初香さんは絵を描くことが好きなんですね。村の中でも絵を描きますか。

○8番（佐藤初香君） 学校の授業だとかでも結構楽しんでやっています。

○村議会議員（山本敬介君） 村の中を再発見して、いろいろなところを見て回ったり、観光の資源を探したということなんですけど、この中で絵を描いてみたいなというところはありましたか。

○8番（佐藤初香君） 赤岩青巖峡のきれいな森林の風景とかは、すごいきれいだなと思いました。

○村議会議員（山本敬介君） 岩の色もきれいですよね。ありがとうございます。観光のスポットがあるんだけど、そこに行く交通がなかなかないんじゃないかという指摘だと思うんですけど、初香さん、住んでいて分かると思うんですけど、占冠村はすごく広いじゃないですか。トマムからここに来るまで30分くらいかかる。さらにニニウまで30分くらいかかる。そのくらい広いところに人口が今何人くらい知っていますか。

○8番（佐藤初香君） あんまりよく分かっていないんですけど、最近リゾートのクラブ

メッドとかですごく増えているなという実感はしています。

○村議会議員（山本敬介君） それでも1500人くらいの人口ですので、札幌とかに行くと、ちょっと大きなマンションとかだと、そのくらいの人がマンション1棟に住んでいたりするんですよ。そのくらい、占冠村は広さのわりに住んでいる人が少ないんですよ。そうすると、住んでいる人たちの移動をバスでしようとするのがすごく難しい。これは占冠村に限らず、いろいろな人の少ない地域では悩みの種なんですね。

ちなみに、村の毎日のバスを動かしている委託料で3200万円かかっているんですけど、小学校と中学校の運営費、人件費は別にして運営費を合せて3800万円くらいなので、このバスがどれだけ大きなお金がかかっているのか分かると思うんです。そう考えていくと、なかなかバスを、さらに台数を増やすとか、便を増やすとか、あまり人が乗っていないところのバスを増やしていくのは難しいなあというふうに思っています。どういった工夫ができるのかなということを考えています。

今、オンデマンド交通、その人に合ったような交通を作っていこうということで努力をしているんですけど、なかなかそれにはまだまだ住民の満足を得られていないような状況なんですよ。初香さんが言うように、観光資源がどんどん見つかって、観光客がどんどん増えるとバスはどうなると思いますか。

○8番（佐藤初香君） バスの便を増やさなければ全員乗せられないんじゃないかなと。

○村議会議員（山本敬介君） そのくらい観光客が来るようになれば、もちろんバスを走らせてもバスの運賃でペイできるだろうし、良いと思いますね。もっと一緒に観光の資源になるようなものを探していきたいと思う

んですよね。

バスがないと不便という考えがあるじゃないですか。ちょっと視点を変えてみますけれども、不便というのは、例えば、人間の生命・財産に関わるようなところで不便というのは非常に困るんです。例えば、食品を買いに行くとか、病院に行くとか、そういうところの不便は非常に困るんですけど、観光は意外に不便も売りになるんですよ。分かりますか。トマムで観光の目玉と言ったらなんですか。

○8番（佐藤初香君） リゾート、クラブメッド、スキー、雲海テラス。

○村議会議員（山本敬介君） 雲海テラスはすごい不便じゃないですか。だって山の上に行かないと見られないんですよ。わざわざ。不便だから山の上に行くゴンドラでお金が儲かるんですよ。あとは、例えば今しか食べられないものがあるとか、そこに行かないとみられないものがあるとか、雲海テラスもそうなんですけど、そういうのは不便だけど、不便だからこそ付加価値がついて観光になるという側面もあるんですよ。観光に関しては、そういう不便な所を探して一緒に探していけたらいいなというふうに思っています。

○8番（佐藤初香君） 確かに、実際に不便だったらその分行きづらいとか、価値が上がるなどは実感したんですけど、もし、実際に私たちが村に住んでいる村民だとか、そういう人たちに買い物だとか、普通に生活する上では不便な点が目立つなと思うんですけど、それはどうでしょうか。

○村議会議員（山本敬介君） 買い物とか、病院とか、そういうものに関しては優先的にしっかり作っていくべきだと思います。さっき言ったように人数が少ないので、バスを小さくするだとか、こまめにニーズにこたえて

いくような運行方式などを考えていかないと、今のように大きなバスをあんまり人数が乗っていない中で運行させると、どんどんコストばかりかかるだろうということがあるんです。そこをどう工夫していこうかというのは皆で一緒に考えていかなければいけないというふうに思っています。

あとは、赤岩青巖峡だとバスはなくても自転車で行ってもらったりとか、ジョギングしてもらったりとか、そういった提案も観光客であればできるのかなと思っています。

○8番（佐藤初香君） もし、バスの増便が難しいのであれば、今、むらびと交通が行われているので、それを拡大してみたらどうなのかなと思うんですけど、赤岩青巖峡などの観光ができる場所での交通を行っていったら、今ある観光業をより活発にさせることができるんじゃないかなと思うんですけど。

○村議会議員（山本敬介君） 特に、赤岩青巖峡は、今、クライミングで人気がありますけど、遊歩道は取材されたと思うんですけど素晴らしいですよ。石と石の狭いところに入って上を見上げたりとか、ああいうことって他の場所じゃなかなかできないし、苔がふかふかで足元が気持ちいいんですよ。そういう魅力をもっと伝えればそこに行く人も増えていくので、そこに行く人が増えていけば、交通も観光協会中心に考えていけるんじゃないかなと思います。観光協会もそこは注目していると思います。遊歩道に関しては、考えていきたいと思っています。

○8番（佐藤初香君） ありがとうございます。以上です。

○村議会議員（山本敬介君） ありがとうございました。

○CS議長（中本日菜君） 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

次の質問に移ります。9番、渡辺翔輝君。

○9番（渡辺翔輝君） CS議会議員の渡辺翔輝です。議長の許しを得ましたので、一般質問を行います。

部活動に必要な備品を揃えるために資金を増やすことは可能ですか。

また、体育の時間にライトの光が反射してボール等が見辛く、部活動でも同じことが原因で練習効率が悪いいため、壁の色を茶色等に塗り替えるなどの対策をお願いしたいと考えています。以上、2点について、村議会議員として何か考えられることがあるのか、佐野議員に伺います。

○CS議長（中本日菜君） 佐野一紀君。

○村議会議員（佐野一紀君） CS議会議員の渡辺議員の施設等に対する要望についての質問が2点ありましたので、お答えをさせていただきます。

まず、1点目の部活動に必要な備品の購入についてであります。資金ということは予算だと思っておりますが、当初予算は年度当初から作っているもので、中間的にはなかなか難しい面があるんですが、予算を増やす可能性はどうかということです。備品調達ということではありますが、備品調達については要望をきちんと、何が欲しくて、何がだめで、何をどうやってどのくらいほしいかという明細を明らかにしながら学校経営者である校長先生等に担当の職員とお話されて、要望していくのが良いのかなと、このように考えております。

もう1点については、体育の時間にライトの光等が反射してボールが見えづらく、部活動においても同じことがあるということで、練習効果や効率が悪いということでもあります。茶色にしてほしいということではありますが、お聞きしたいのは、管内の中学校に行ってテニス等をやられると思うんですが、管内の各

学校はどのようなのか。白と白では見えづらいのは分かるんですが、どうでしょうか。

○9番（渡辺翔輝君） 富良野管内や上川管内の主な大会会場では、なかなか白い壁がないというふうにテニス部部員の人から聞いています。なので、大会会場では白い壁はないので、占冠中学校も白ではなく茶色等に塗り替えてほしいです。

○村議会議員（佐野一紀君） 茶色い壁にするのが可能であっても、大会を設定する、大会をするところが白であれば、白と白でまたテニスをする効率が悪くなる。カラーボールとかもいろいろあって、それを利用しても、また壁とボールが白と白であれば同じような状況になるとこともあるので、そのへんどうでしょうか。

○9番（渡辺翔輝君） 大会会場によっては白い壁はあると思いますが、テニスなのでカラーボールではありません。

○村議会議員（佐野一紀君） 最初の自己紹介でも渡辺翔輝君はソフトテニスと言うのかなと思ったんですが、筋トレと言われたので、筋トレはソフトテニスをやるためにやっているんですか。

○9番（渡辺翔輝君） 僕はソフトテニスではなく野球をやっています。

○村議会議員（佐野一紀君） 分かりました。僕もへき地という言葉はあまり差別的で使いたくはないので、中山間地区の小規模校、人数が限られた中で皆さん頑張っておられる。ソフトテニスもここ1～2年、新聞を見ていたら占冠中学校が地方で入賞したと。限られた人数の中で頑張っておられるわけです。きちんとした条件で、学校教育というのは皆さんが等しく受けられるように権利が保障されているわけでありましてから、そのへんは担当の先生方と経営者の校長先生ときちんと話し

合いをして、教育委員会でも年2回、定期的に話し合いをしているし、校長を含めて教育長も含めて定期的な会合を行っているとお聞きしているので、そのへん、お答えになったかちょっと疑問なんですけど、皆さんと同じように要望・要請・意見を言って議決する立場なので、行政的な面を含めてこれからも要望等は続けていきたいなと思っています。

○9番（渡辺翔輝君） 以上です。

○CS議長（中本日菜君） 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

次の質問に移ります。10番、伊達小春君。

○10番（伊達小春君） CS議会議員の伊達小春です。議長の許しを得ましたので、一般質問を行います。

道の駅で食べ物を購入してもごみを捨てる場所がなく、困ることが多いようです。ごみ箱の設置について、村議会議員として何か考えられることがあるのか、大谷議員に伺います。

○CS議長（中本日菜君） 大谷元江君。

○村議会議員（大谷元江君） 伊達小春議員の質問にお答えさせていただきます。私も道の駅に関して、ごみ箱の設置に関しては興味を持っておりまして、6月の議会で村長に対してごみの分別処理、ごみを持って帰るのは大変なので、ごみ箱設置ができないのかということで要望したこともございます。

ただ、観光客がたくさんいますね。伊達さんは食べ物を購入して、そのごみはどうされましたか。

○10番（伊達小春君） 私は家に持ち帰りました。

○村議会議員（大谷元江君） 今、道の駅では品物を買った店に持っていくと引き取ってくれるというのが条件になっているようなんです。それでごみ箱は撤去されたような

んです。これは全道の道の駅、商店、全部で外にごみ箱を設置しているとそこのごみだけではなく、一般家庭のごみもそこへ持ってきて捨てるという方、マナー違反なんですけれどもそういう方が多いということで撤去されているんですね。

今、分別、プラスチックとか、この間、中学校でも牛乳パック等のいろいろなものも分別されていますよね。普通のごみも分別しなければいけないということで、ごみの処理にお金がかかります。これも税金です。よそからきたごみも、村内の税金で処理するということが大変困難だということで、ごみ箱は外されております。なので、伊達さんは持ち帰られたということなのでごくいいな、良かったなと思いました。私も、ごみは自分で処理するのが原則だと思っています。これからもごみ箱設置は必要だと思いますか。

○10番（伊達小春君） 家庭用のごみなどを道の駅に設置されたごみ箱などに捨てるの人がいるのであれば、今のように購入した店に渡すのが良いと思うんですけど、外国人観光客などが分からないと思うので、分かるように表記したらいいと思います。

○村議会議員（大谷元江君） そうですね。それは道の駅の人たちにも、私としても要望していききたいと思います。これから長い期間、観光客を呼び込もうとしている村の体制として、もっとごみに関してはどういうふうにしていこうかということで、村長をはじめ、相談していききたいと思いますけれども、私としては、今、村で、それぞれのプラスチックごみ、ペットボトル用のごみと専用の袋がございまして、それを観光客の方に買っていていただいて、処理はできないのかなということで提案したこともございます。そういう方向で外国の方、村外の方にそういうものを利用して

らってごみの処理をしていけばいいなというふうに考えていますけれども、そんな考え方はいかがですか。よそのところに行っても、ごみ袋を買って処理するというのは伊達さんとしては可能だと思いますか。それは良い方法だと思いますか。

○10番（伊達小春君） はい、思います。

○村議会議員（大谷元江君） では、そういう方法も村に、私としては提案していきたいなと考えます。以上でよろしいでしょうか。

○10番（伊達小春君） はい、お願いします。

○村議会議員（大谷元江君） ではしっかりと村長に提案していきたいと思います。以上です。何か他に質問はございますか。

○10番（伊達小春君） 大丈夫です。

○村議会議員（大谷元江君） ありがとうございます。

○CS議長（中本日菜君） 質問者、答弁者は自席にお戻りください。

これで一般質問を終わります。

◎講評

○CS議長（中本日菜君） これから、占冠村議会議員による講評を行います。前にお進みいただきまして、講評をお願いします。

占冠村議会議員、相川繁治君。

○村議会議員（相川繁治君） 本日は大変お忙しい中、大勢の皆さんにお集まりいただきましてありがとうございます。本日のコミュニティ・スクール議会の開催にあたり、占冠中学校をはじめ、各関係の皆様のご協力をいただきまして、第1回目として初めての中学生とのコミュニティ・スクール議会を計画しましたところ、10名の中学生の皆さんからの一般質問の通告書をいただき、我々、各議員はプロとは言いながら、答弁をする側に立ったことがほとんどありません。そういった

中で、今まで指摘・追及する立場の側にいたということではありますが、今日は中学生の皆さんの質問にどのように答えるべきか、それぞれかなり悩みながら答弁を考えられたと伺っております。

中学生の皆さんは、身近な課題に取り組み、私たちの気が付かないようなことを掘り起こしていただきました。ありがとうございます。また、活発なやり取りが行われたことは、これからの人生の中で議会、政治、選挙など心に残る糧となりますことを願っております。

実は、村と同じように平成21年から9年間、住民懇談会を村内4カ所で毎年、行ってまいりましたが、参加される住民の方々が固定化されてきていることや、参加人数も徐々に少なくなり、議会には議決権はあるものの、執行権というのはございません。そのため、意見を伺っても村に伝え、回答を広報などで伝えるといったことで、村と重複することが多かったわけでありまして。そうした中で、9年も経ったことから、既にマンネリ化を感じる事となり、この度、方向転換し、以前から考えておりました村内に住む、若い、中学生の皆さんと意見交換をと考え、中学校、教育長、関係の皆さんとの話し合いの中でこのコミュニティ・スクール議会を快く受諾いただきまして、実現の運びとなったところでございます。

平成27年、国は18歳に選挙権が付与したと併せ、これからの国を支える皆さんに政治の根幹に関わる選挙、議会など少しでも多くの経験を積まれ、今後に備えていただければ幸いというふうに思っております。若い皆さんが、これから村づくり、国づくり、それから今回の内容は地域に密着したご意見が多くみられたところですが、今後は身近な課題

は当然のこと、夢のある未来についてもご意見をいただければとご期待するとこととございます。

当企画については、傍聴された皆様、関係の皆様、村民の方々のご意見を広くお聞きした中で次年度もつなげられるようにと思っております。本日は大変ありがとうございました。

OCS議長（中本日菜君） 相川議長、ありがとうございました。

◎散会宣言

OCS議長（中本日菜君） 以上をもって、本CS議会に付議された案件は、全て終了しました。CS議会はこれを持ちまして閉会したいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

OCS議長（中本日菜君） 異議なしと認めます。

したがって、本CS議会はただいまを持ちまして閉会することに決定しました。

これでCS議会を閉じます。

平成30年第1回占冠村コミュニティ・スクール議会を閉会します。

散会 午後3時44分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

平成 30年 11月 28日

占冠村コミュニティ・スクール議会議長 中 本 日 菜

(署名議員)

占冠村コミュニティ・スクール議会議員 茶 谷 一 輝

占冠村コミュニティ・スクール議会議員 金 森 愛 奈